

[抄録様式]

<p>財団法人 8020 推進財団 平成 23 年度 歯科保健活動事業助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：学童期キャリア教育に於ける歯科啓発活動</p>
<p>2. 申請者名：社団法人小樽市歯科医師会 会長 笠間茂 地域医療担当理事 沖津正尚</p>
<p>3. 実施組織：(社)小樽市歯科医師会、北海道歯科衛生士会小樽支部、 北海道技工士会小樽支部</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>「8020 運動」に基づく健康日本21の具体的な目標として①歯の喪失防止、②幼児期のう蝕予防、③学童期のう蝕予防、④成人期の歯周病予防について掲げられているが、その中で③学童期のう蝕予防の観点からみると全国の12歳児DMFT指数1.82 (H17) と北海道の12歳児DMFT指数 3.46 (H17) には大きく差があり、8020 達成のためには、児童・生徒の歯科保健状況の改善は喫緊の課題である。</p> <p>そこで、小樽市歯科医師会では、今までの歯科健康教育とは視点を変えて学童へ働きかけを行う事を企画した。</p> <p>児童・生徒へのキャリア教育事業という教育時間（小学校6年生で100時間）の一部を使用し、歯科保健知識の普及を図ることにより、今後の8020運動の推進に役立つと考える。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>歯科医師業務としてCR充填と支台歯形成など、衛生士業務として歯石取りや清掃指導、歯科技工業務として銀歯や入れ歯作りなどについての簡単な説明をビデオと模型などを利用し紹介。実習として印象材を練り、指先を印象した後、石膏を練って固める実習を行う。出来上がった指先の模型の爪にマネキュア風にピンクの即重レジンで着色を行う実習。小樽市歯科医師会、北海道歯科衛生士会、北海道歯科技工士会の各代表から各業務のアピールをしてもらい、最後に保健所の歯科医師の先生に、虫歯の成り立ちなど虫歯予防に関する講義を行ってもらう。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>前年度に引き続きPTAからの依頼で小学校2年生と小学4年にキャリア教育を行ったが、大変好評で是非、次年度も授業を行ってほしいと要望が出ている。小樽市保健所の歯科医師である中村悦子先生にも参加していただき小学校低学年にも理解しやすい歯科保健知識の授業をしていただいた。授業ではオープンキャンパス形式で父母会形式をとり、家族で歯科保健知識の向上を目指し、大変好評であった。今後は北海道歯科衛生士会、北海道歯科技工士会とさらなる連携を持ち、歯科職種の興味を持たせつつ、歯科保健知識の普及を図り、今後の8020運動の推進に役立つ事業展開をしていきたい。</p>